

中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会

第 1 回 環境利用学習専門部会資料

(本編)

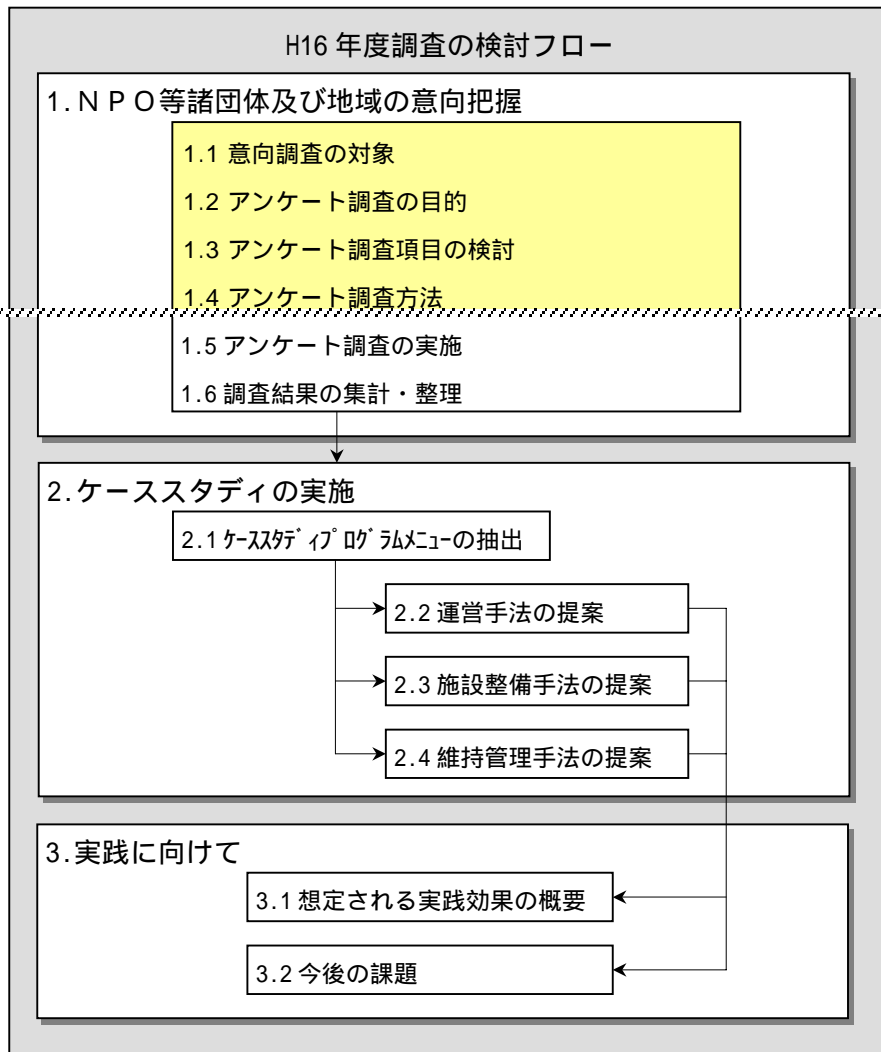
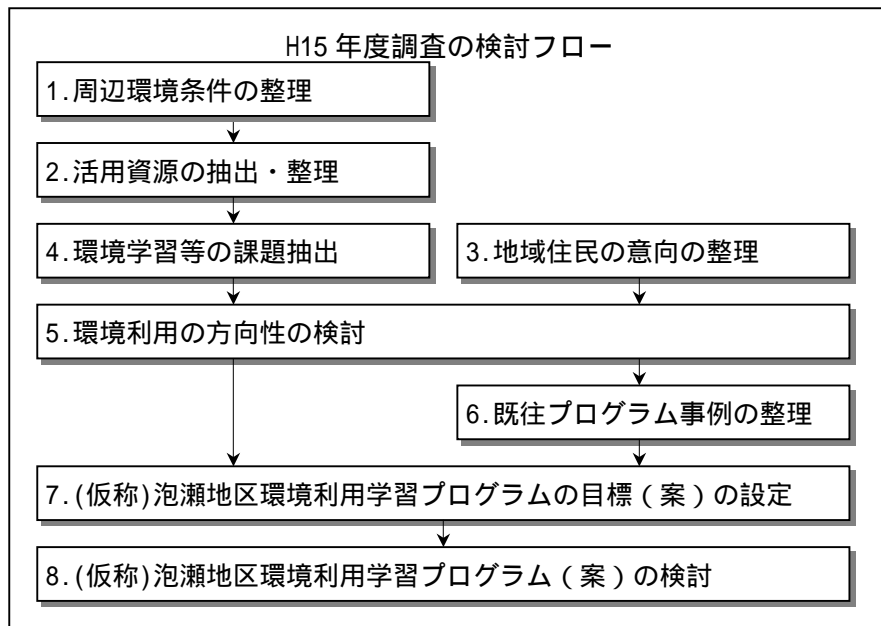
平成 16 年 9 月 7 日

内閣府沖縄総合事務局開発建設部

沖縄県土木建築部

沖縄市東部海浜開発局

(財)港湾空間高度化環境研究センター



第1回専門部会

第1回専門部会  
の検討範囲

第2回専門部会

平成 17 年度以降調査：環境利用学習の実践、個別施設整備の検討等

図 - 0.1.1 環境利用学習専門部会の検討フロー

# 目 次

## 平成 15 年度調査結果の概要

1. 活用資源の抽出・整理 .....	- 1
2. 環境学習等の課題抽出 .....	- 5
3. 地域住民の意向の整理 .....	- 5
4. 環境利用の方向性の検討、設定 .....	- 6
5. 既往プログラム事例の整理 .....	- 6
6. (仮称)泡瀬地区環境利用学習プログラムの目標(案) .....	- 8
7. (仮称)泡瀬地区環境利用学習プログラム(案) .....	- 9
8. 環境利用学習推進のためのシステム(案) .....	- 10

## 平成 16 年度調査

1. N P O等諸団体及び地域の意向把握 .....	- 1
1.1 意向調査の対象 .....	- 1
1.2 アンケート・ヒアリング調査の目的 .....	- 1
1.3 アンケート・ヒアリング調査項目の検討 .....	- 2
(1)泡瀬地区地域住民へのアンケート調査 .....	- 2
アンケート調査項目の構成 .....	- 2
アンケート調査票(案) .....	- 3
(2)N P O等諸団体へのヒアリング調査 .....	- 15
ヒアリング調査項目の構成 .....	- 15
ヒアリング調査票(案) .....	- 16
(3)小・中学校関係者へのアンケート調査 .....	- 18
アンケート調査項目の構成 .....	- 18
アンケート調査票(案) .....	- 19
1.4 アンケート調査方法 .....	- 27
(1)泡瀬地区等地域住民へのアンケート調査 .....	- 27
調査方法 .....	- 27
選定方法 .....	- 27
調査対象 .....	- 27
発送数 .....	- 28

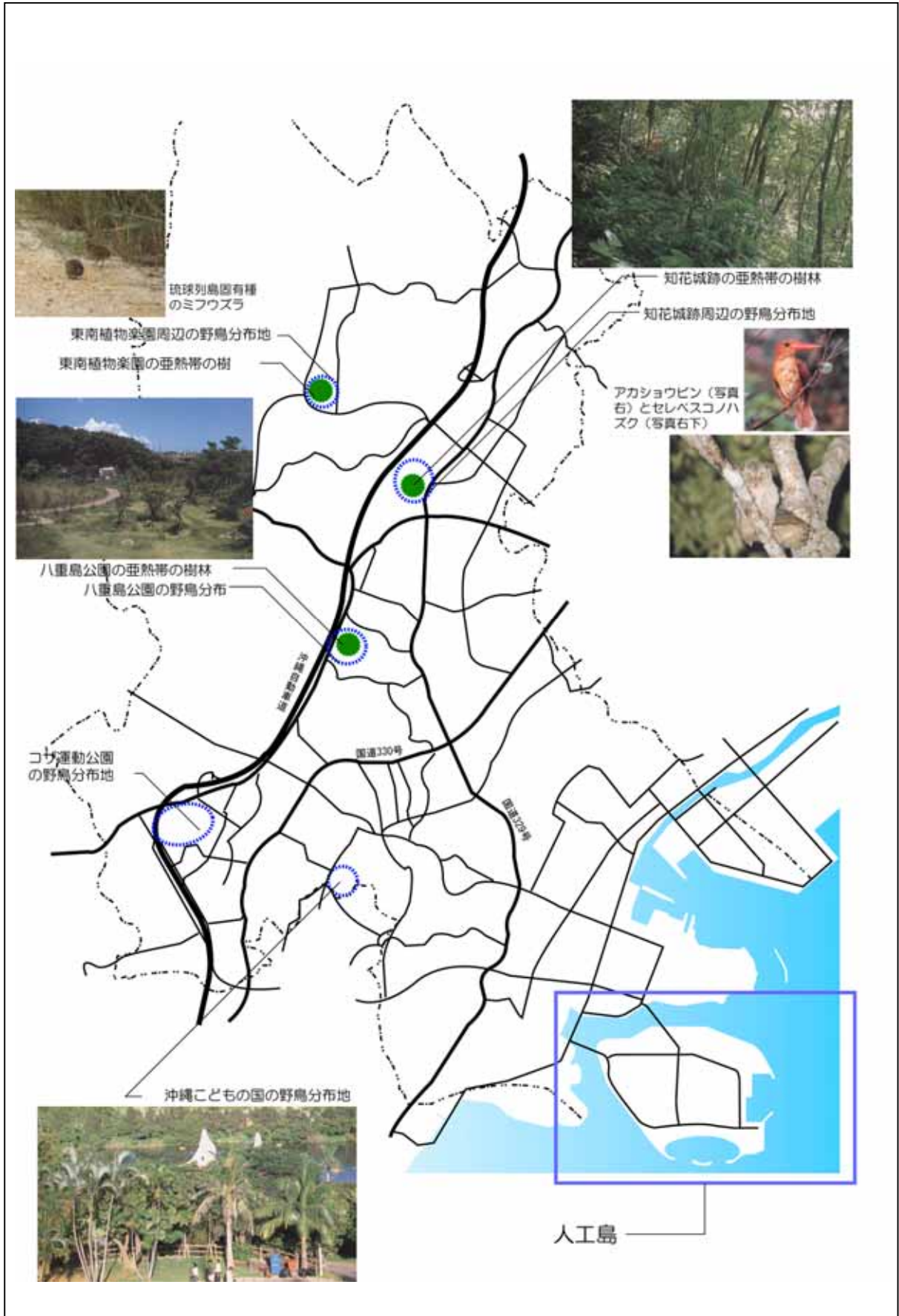
(2)NPO 等諸団体へのヒアリング調査 .....	- 29
調査対象 .....	- 29
調査方法 .....	- 31
(3)小・中学校、養護学校へのアンケート調査 .....	- 32
調査対象 .....	- 32
調査方法 .....	- 32

## ・平成 15 年度調査結果の概要

# 1. 活用資源の抽出・整理

## (1) 自然的活用資源

### 沖縄市陸域部における活用資源

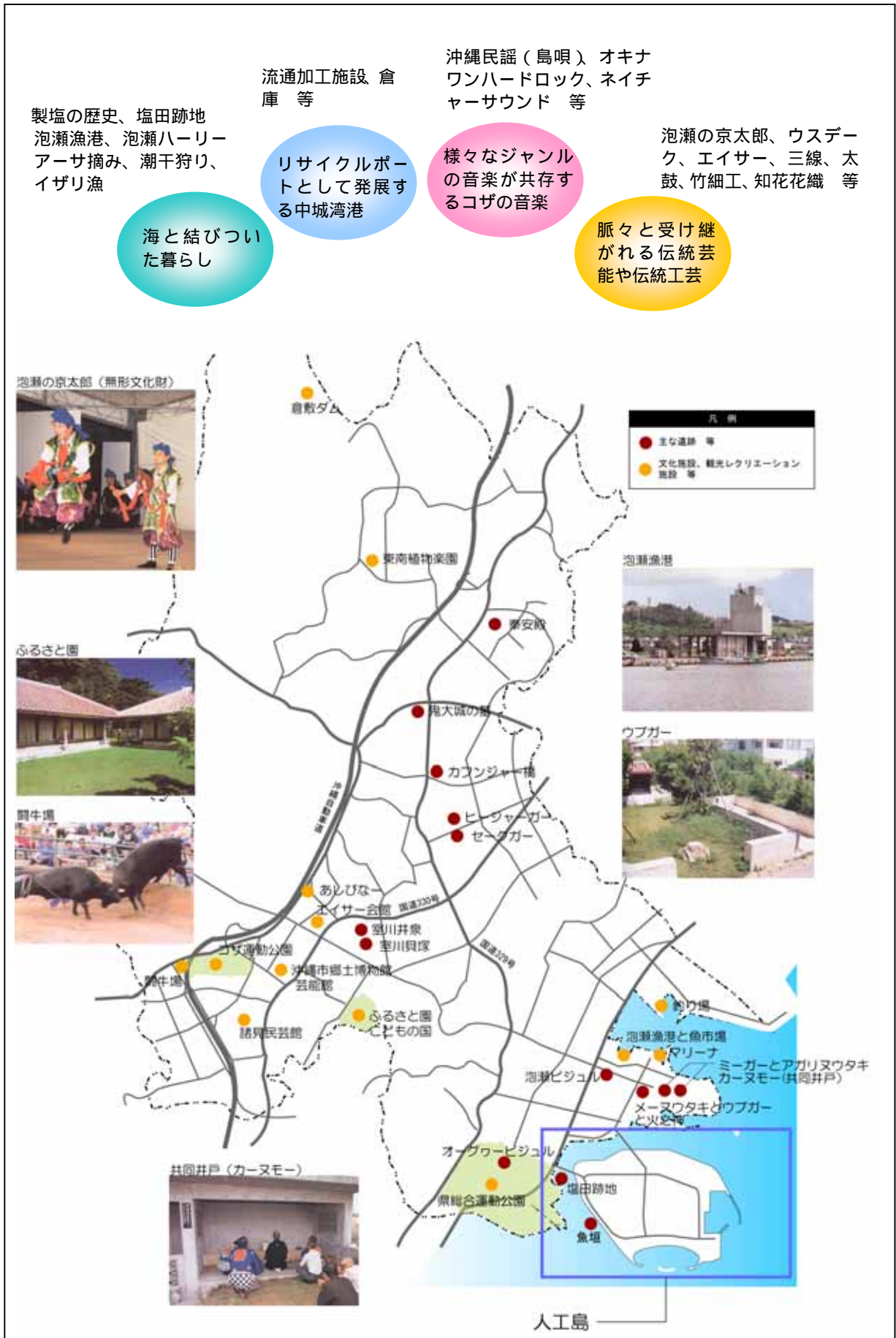


泡瀬地区・人工島周辺における活用資源



(2) 社会的活用資源

沖縄市における活用資源





泡瀬地区・人工島周辺における活用資源

工芸ゾーン (イメージ)

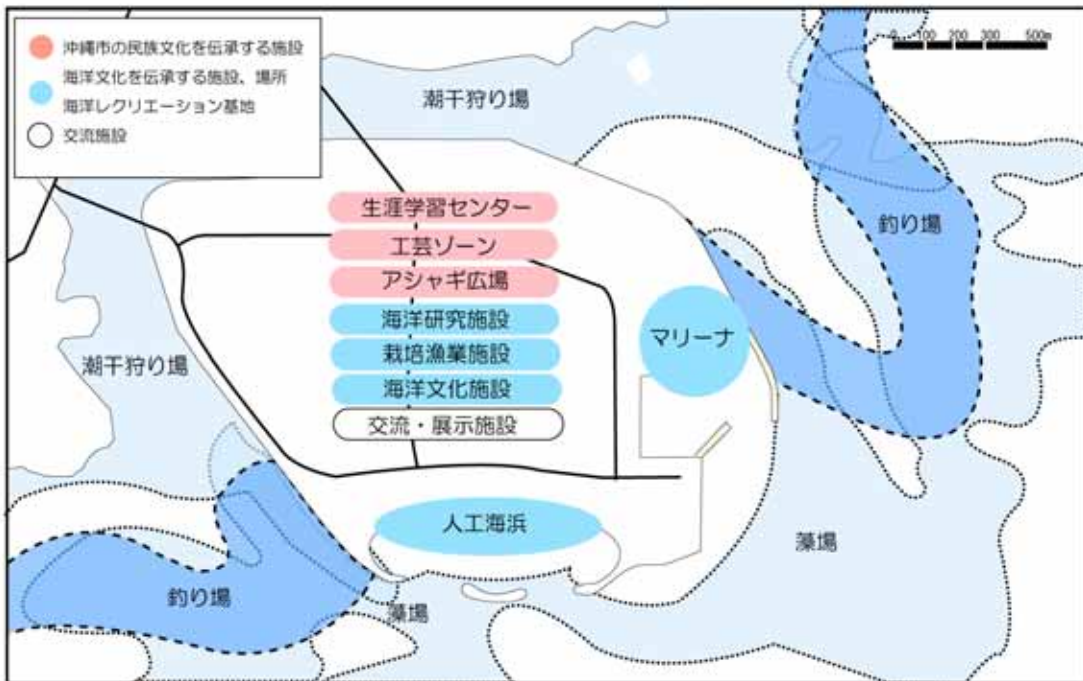


工芸品の実演、販売等を行うゾーン

マリーナ (イメージ)



海洋性レクリエーションの拠点



アシャギ広場 (イメージ)



沖縄の伝統民謡や音楽等のイベントが開催できる広場

市民ビーチ (イメージ)



海水浴の地、マリンスポーツが楽しめるビーチ

## 2. 環境学習等の課題抽出

学童が実施する総合学習（環境学習）及びエコツアー実施上の問題点や課題について整理抽出すると、以下に示すとおりである。

表 - 2.1 環境学習等の問題・課題

課題項目	問題・課題
環境学習実施上の問題点・課題	<p>総合学習（環境学習）の題材となる自然環境・社会環境を効果的に活用するための方策を、多方面から検討・構築することが必要である。</p> <p>実際の学習プログラム作成にあたっては、小学生等の総合学習への活用には児童の学習意欲や興味を持たせるための方策検討（遊びの要素を加える等）を行うことが必要である。</p> <p>環境学習の積極的な推進のための検討が必要であり、そのための、諸団体へのヒアリング調査等の実施など、実現に向けた努力が必要となる。</p> <p>背後既存施設との連携により、多彩なプログラムを提示することが望ましい。</p> <p>高質かつ魅力的な環境学習を実現するために、国際的な機関や団体との連動方策を検討することが必要である。</p> <p>体験の実感を確実なものとするための発表の場の構築や表彰制度など、多岐にわたるフォローを検討することが必要となる。</p>
自然体験実施上の問題点・課題	<p>インタープリターの養成など、既に指導している県内の団体（ネイチャーワークス等）等の協力を得て、地元から新たに人材を確保することが課題となる。</p> <p>時間に余裕を持って楽しむためにも宿泊施設等の設備が必要となることから、既存宿泊施設の活用や人工島内新規整備施設との連携、さらには、効果的な自然体験の実施のための適切な施設整備計画などが必要である。</p> <p>ソフト面の検討（プログラム構築、実施推進団体・連携協力体制、PR手法、資源管理など）も、同時に検討することが必要である。</p> <p>コンセプトが共通する周辺の観光地（世界遺産等）との組合せによる多様なコース設定の検討が必要となる。</p> <p>水産関係者、農業関係者、商工会等、地域全体の連携により地域活性につながる施策を具体的に検討していくことが望ましい。</p>

## 3. 地域住民の意向の整理

東部海浜開発に係る市民アンケート（平成5年7月）

市が置かれている現状の問題点として、観光資源の少なさや、市内での就業機会の少なさが挙げられており、東部海浜開発計画による地域経済の活性化が求められている。

市行政施策に対する要望としては国際化に対応できる中城湾港の開発が望まれている。

東部海浜開発計画においては、市民が日常的に楽しめるスポーツレクリエーションの場の形成、新たな観光資源として集客力の向上が期待できる大規模な人工海浜の整備を望む回答が多い。

## 4. 環境利用の方向性の検討、設定

方向性 1	環境利用学習推進のためのシステムの構築
方向性 2	社会環境を活用した学習の推進
方向性 3	自然環境を維持し、持続的に利用するための資源管理を行う
方向性 4	周辺の既存資源をも活用した環境利用学習プログラムの確立
方向性 5	海事に関わる環境利用学習の展開

## 5. 既往プログラム事例の整理

### 環境教育（学習）プログラム

環境教育・環境学習のために開発されたプログラム  
身近な自然的環境から、生活環境、文化的環境、地球環境まで幅広い分野が対象  
学校の「総合的な学習の時間」等で利用されている

### 自然体験活動プログラム

自然の中での体験学習を目的として開発されたプログラム  
主に「少年自然の家\*」を初めとする自然体験学習施設等で利用されている

\*少年自然の家...文部科学省が中心となって実施している自然体験制度

### (1) 環境学習プログラム

#### a) 事例に見る環境学習プログラムの特徴

##### 学習対象は広範で、総合的である

環境学習で扱う内容は、地球温暖化やオゾン層の破壊などの地球規模での環境から、動植物などの身近な「自然環境」、人的環境、施設、エネルギー消費や経済活動などの「生活環境」、地域の歴史・文化・食といった「文化環境」など、幅広い要素が対象となっている。

また、地域の木等、暮らしに身近な素材を取り上げて「気付き、関心」を呼び起こし、さらにはその素材と自らを含む環境との相互関係を考える総合的なプログラムである。

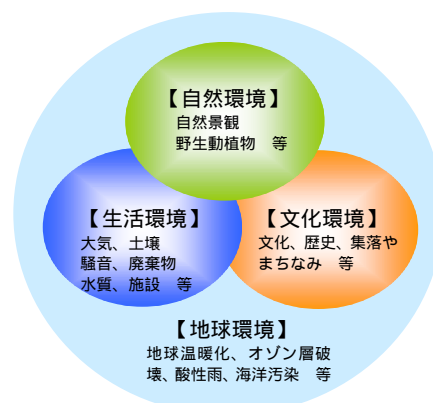


図-5.1 環境学習プログラムの対象

## 学習者のライフステージを踏まえたプログラムである

環境教育の目標は、参加者のライフステージにより異なるものである。

事例では、幼児期には直接体験を通して自然と人に対する関心や感性を養い「気づき、関心を持つ」、就学期では自然に対する知識や自然に対する技術を学ぶ「知識を深める」等、学習者の年齢等に応じた目標とアクティビティが設定されている。

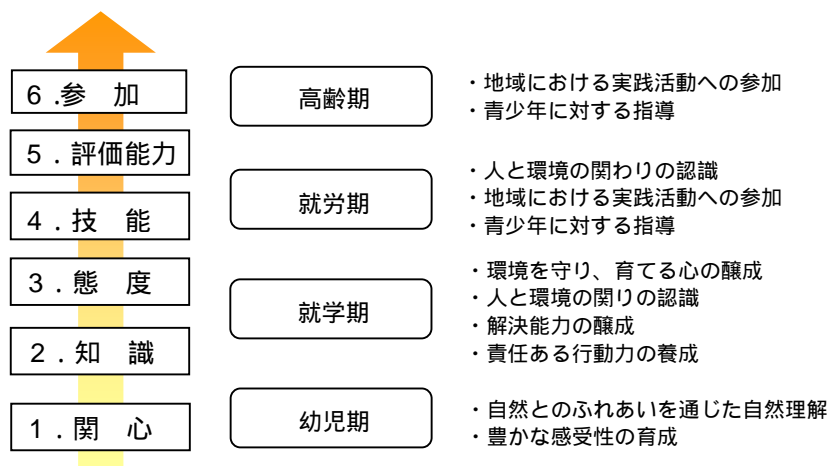


図-5.2 ライフステージと環境学習プログラムの目標

## 自らが課題を見つけて学び、考えるプログラムである

自然を観察したり調べることを通して、自ら疑問や不思議を発見し、仮説を立てながら観察することや、生きものの暮らしを理解したり自然の法則性について発見できる力を養う（学び方を学ぶ）プログラムである。

### (2)自然体験活動プログラム

#### a)自然体験活動プログラムの特徴

##### 地域の自然環境資源、社会環境資源を活かした多様なアクティビティ

美しい海や山等、地域の自然的資源を活かし、利用者が地域の自然を理解し、楽しむことができるアクティビティを用意している。また、本来主流であった自然体験、共同体験だけでなく、工芸（クラフト）等の芸術活動、史跡めぐりや地場産業見学等の地域体験活動等、多様化している。

##### 利用者と地域の人とのふれあいを大切にしたプログラム

自然体験指導員（インタープリター）だけでなく、漁業等に携わる地域の人実際に漁業体験指導をする等、地域の人材を積極的に活用し、利用者と地域の人とのふれあいを大切にしたプログラムが多く見受けられる。

## 6. (仮称)泡瀬地区環境利用学習プログラムの目標(案)

### (1)環境利用学習プログラムの対象者

(仮称)泡瀬地区環境利用学習プログラムの対象者を、マリンシティ泡瀬の居住者をはじめとする沖縄市民、及び県内外からの観光客とする。

### (2)環境利用学習プログラムの目標

#### 泡瀬地区環境利用学習プログラムの目標

自然とのふれあいや様々な実体験を通じて、環境への関心を深める。家庭や地域社会、企業などの日常生活や事業活動が、環境に対して負荷を与える要因であることに気づく。

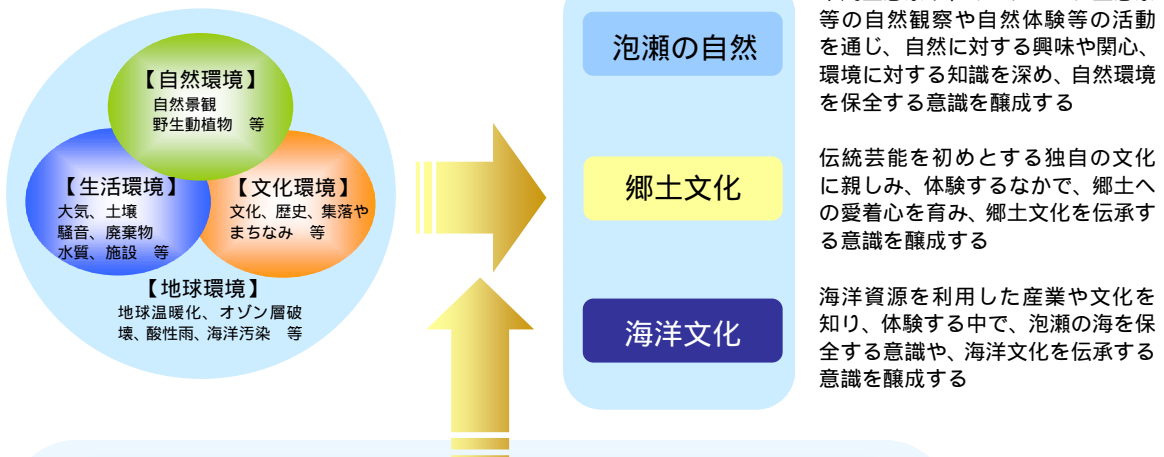
泡瀬地区内外の自然環境を保全し、自らの日常生活や事業活動を環境への負荷の少ないものに転換していくために、自分は何をしなければいけないのか、何ができるのかを考える。

日常生活や事業活動の中で、市民や民間団体、事業者、行政といった様々な主体が連携して、環境保全に向けた取り組みを実践し、継続的に発展・拡大する。

### (3)環境利用学習プログラムのテーマ

[環境学習の対象]

[泡瀬地区環境利用学習プログラムのテーマ(案)]



#### [沖縄市と泡瀬のポテンシャル]

##### 【自然的資源】

泡瀬干潟と生き物 比屋根湿地のマングローブと生き物 亜熱帯の森林と生き物

##### 【社会的資源】

脈々と受け継がれる伝統芸能や伝統工芸  
様々なジャンルの音楽が共存するコザの音楽  
海と結びついた暮らし  
リサイクルポートとして発展する中城湾港

##### 【マリンシティ泡瀬の自然的・社会的資源】

浅海・干潟・砂浜と生き物 泡瀬の自然に触れ、学習する施設  
海洋文化を伝承する施設 海洋レクリエーション拠点  
伝統芸能や伝統工芸、音楽など、沖縄市の民族文化を印象づける施設

# 7. (仮称)泡瀬地区環境利用学習プログラム(案)

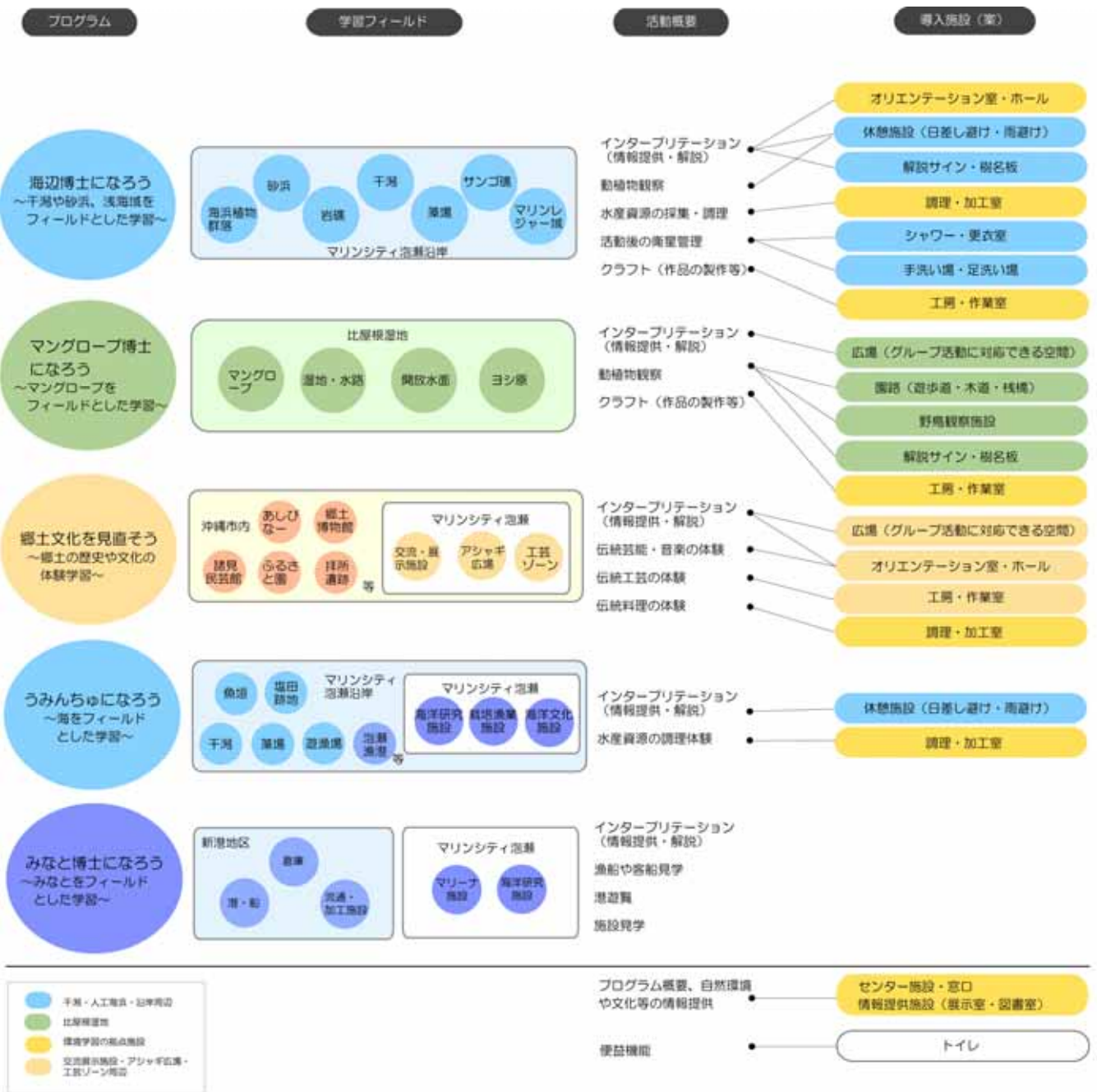
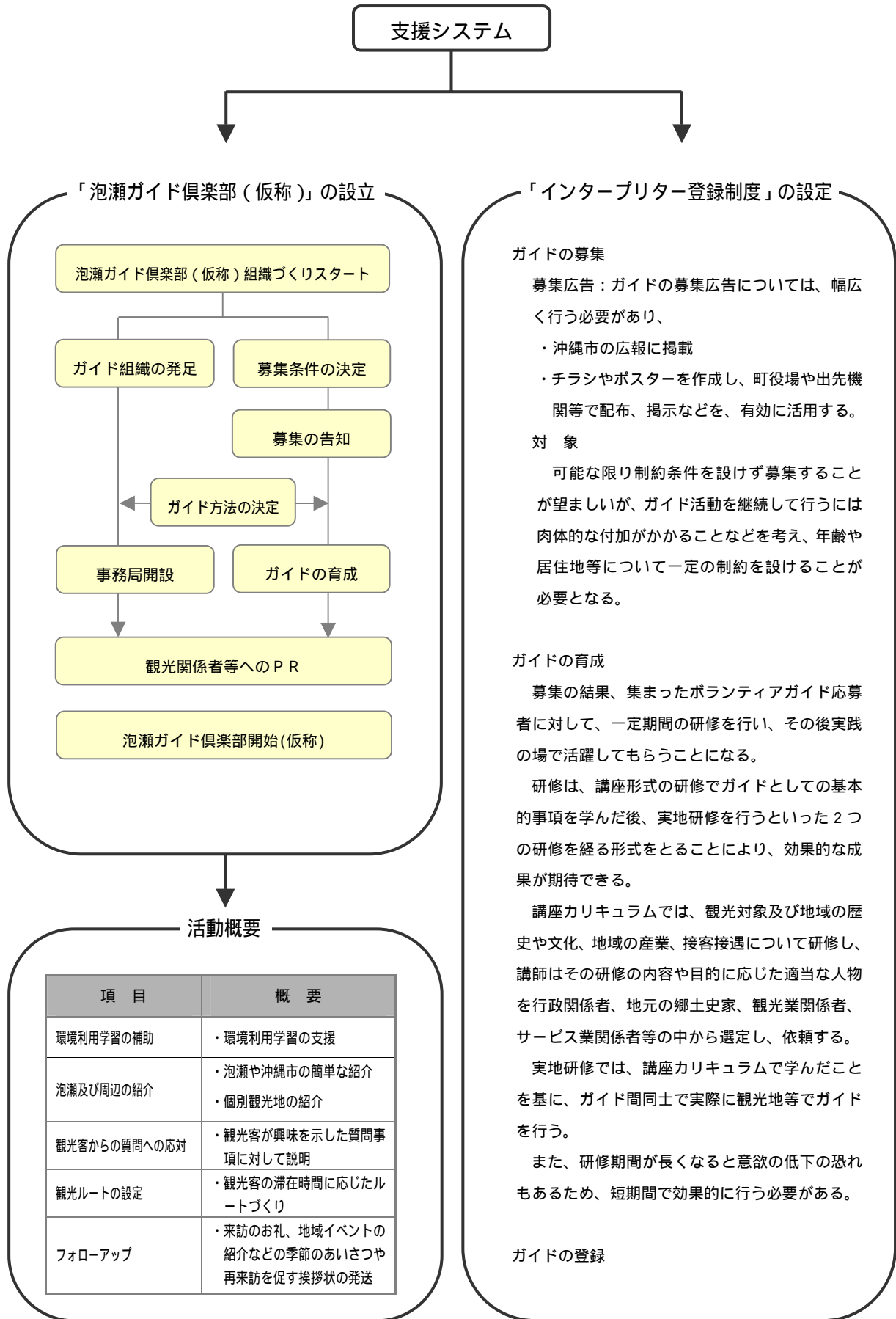


図- 7.1 環境利用学習の推進に向けた導入施設(案)

## 8. 環境利用学習推進のためのシステム（案）



. 平成 16 年度調査

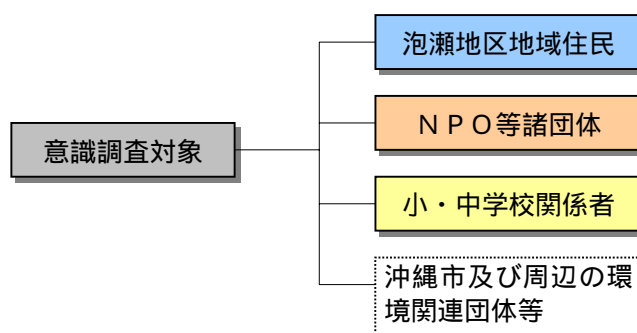


## 1.NPO等諸団体及び地域の意向把握

平成15年度環境利用学習専門部会においては、マリンシティ泡瀬と沖縄市内の環境資源の整理、既往プログラム事例の整理等に基づいて、「(仮称)泡瀬地区環境利用学習プログラム」の目標及びプログラム(案)を検討した。

本年度は、平成15年度に検討した結果を踏まえ、中城湾港沿岸と沖縄市内の環境施設等を利用した活動に関する地域住民のニーズを把握した上で、プログラムの実践に向けた計画(アクションプラン)の検討を行う。

### 1.1 アンケート・ヒアリング調査の対象



□については、対象となりうる団体の有無や状況等により判断する

図 - 1.1 意向調査の対象

### 1.2 アンケート・ヒアリング調査の目的

表 - 1.1 アンケート・ヒアリング調査の目的

区分	アンケート調査の目的
泡瀬地区地域住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において特徴的な自然環境を把握する</li> <li>・地域においてアピールすべき自然環境を把握する</li> <li>・どんな自然環境を詳しく知りたいかを把握する</li> <li>・自然環境を伝える活動への参加経験の有無及び意向を把握する</li> </ul>
NPO等諸団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を引かれる環境体験のテーマを把握する</li> <li>・実践可能と思われるプログラムを把握する</li> <li>・相応しい対象者を把握する</li> <li>・泡瀬地区における活動の可能性を把握する</li> </ul>
小・中学校関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泡瀬地区における環境学習や体験プログラムの活動状況を把握する</li> <li>・泡瀬地区における環境学習実施の可能性を把握する</li> <li>・泡瀬地区における自然環境に対する興味の有無を把握する</li> </ul>
沖縄市及び周辺の環境関連団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を引かれる環境体験のテーマを把握する</li> <li>・実践可能と思われるプログラムを把握する</li> <li>・相応しい対象者を把握する</li> <li>・泡瀬地区における活動の可能性を把握する</li> </ul>

### 1.3 アンケート・ヒアリング調査項目の検討

#### (1) 泡瀬地区地域住民へのアンケート調査

##### アンケート調査項目の構成

地域住民の意向調査はアンケートによるものとする。アンケート調査は、以下の構成により行うこととする。

##### 泡瀬地区の自然環境について

- ・ 泡瀬地区における特徴的・代表的な自然環境について
- ・ 泡瀬地区において興味を引かれる自然環境について
- ・ 泡瀬地区における自然環境の現状認識について
- ・ 泡瀬地区における環境改善のための方策について

##### 泡瀬地区の社会環境（歴史・文化、港、スポーツ等）について

- ・ 泡瀬地区における社会環境の現状認識について
- ・ 泡瀬地区における特徴的・代表的な社会環境について
- ・ 泡瀬地区において興味を引かれる社会環境について

##### 泡瀬地区における自然環境・社会環境に関連する活動について

- ・ 泡瀬地区における自然環境・社会環境に関する活動の認知度について
- ・ 泡瀬地区における自然環境・社会環境に関する活動の参加状況について
- ・ 興味のある自然環境・社会環境に関する活動について
- ・ 行うことがよいと思う自然環境・社会環境に関する活動について
- ・ 参加したい自然環境・社会環境に関する活動について
- ・ 協力したい自然環境・社会環境に関する活動について

##### 回答者属性について

- ・ 性別
- ・ 年齢層
- ・ 職業
- ・ 居住場所及び居住年数

アンケート調査票（案）

以下に、アンケート調査項目を踏まえた、アンケート調査票（案）を示す。

地域住民へのアンケート調査票（案）

沖縄市泡瀬地区における自然環境・社会環境等を活用した活動  
に関するアンケート ご協力をお願い

平成 16 年 月 日

沖縄市

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度沖縄市にお住まいの方々に、沖縄市内の自然環境や社会環境（歴史、文化、港、スポーツレクリエーション、産業など）に親しむ活動に関する意識調査をお願いすることになりました。この調査は、中城湾港沿岸にお住まいの方々の中から無作為に選び行うもので、日頃、市民の皆様が沖縄市内の自然環境や社会環境（歴史、文化、港、スポーツレクリエーション、産業など）に、どのように親しんでおられるのかをお聞きすることを目的としたものです。

この調査の結果は、中城湾港沿岸を活用した環境教育・学習活動の実施を検討する上での参考とさせていただきます。

ご多忙のところ恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、この調査の結果は、上記の目的以外に使用することはなく、回収用紙の管理・取り扱いを厳重にし、また統計的に処理した結果のみを利用しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

アンケートご記入に際してのお願い

このアンケートは、あなた様ご自身のお考えをご記入ください。

調査票は無記名です。

ご記入していただく回答のほとんどは、選択式です。

自由意見をご記入いただける欄も設けてありますので、何かありましたらご記入下さい。

記入が終わりましたら、用紙をそのまま折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、ポストへ投函してください。

投函は平成 16 年 月 日（ ）までお願いいたします。

この調査についてご不明な点があれば、下記にお問合せください。

< 沖縄市東部海浜開発局計画調整課 TEL098-939-1212 FAX098-939-6313 >

1. 泡瀬地区における“自然環境”についてお聞きします。

1.1 泡瀬地区の自然環境の中で、代表的、特徴的と思うものは何ですか。

次の中から、いくつでも選んで下さい。

比屋根湿地	干潟	砂岩（ニービ）
海辺の海浜植物	新港のマングローブ	新港のトントンミー
県総合運動公園脇の湿地帯	海藻（藻場）	きれいな海
その他（		）

1.2 あなたが、最も興味のある泡瀬地区の自然環境は何ですか。

次の中から、いくつでも選んで下さい。

比屋根湿地	干潟	砂岩（ニービ）
海辺の海浜植物	新港のマングローブ	新港のトントンミー
県総合運動公園脇の湿地帯	海藻（藻場）	きれいな海
その他（		）

1.3 あなたが、よく行く泡瀬地区の自然環境は何ですか。

次の中から、1つだけ選んで下さい。

比屋根湿地	干潟	砂岩（ニービ）
海辺の海浜植物	新港のマングローブ	新港のトントンミー
県総合運動公園脇の湿地帯	海藻（藻場）	きれいな海
その他（		）

1.4 あなたは、泡瀬地区の自然環境について、どのように感じていますか。

次の中から、1つだけ選んで下さい。

だんだん汚れてきている	きれいで良好な自然環境である	普通である
その他（		）

1.5 あなたは、泡瀬地区の自然環境のために、何をすべきだと思いますか。

次の中から、1つだけ選んで下さい。

下水道を整備すること	汚水を流さないこと	このままにしておくこと
海水の流れを良くすること	湿地を作って水を浄化すること	
その他（		）

2. 泡瀬地区における“社会環境”(歴史、文化、産業、スポーツなど)についてお聞きします。

2.1 泡瀬地区の社会環境(歴史、文化、産業、スポーツなど)の中で、代表的、特徴的と思うものは何ですか。

次の中から、いくつでも選んで下さい。

泡瀬の京太郎	泡瀬ハーリー	エイサー
泡瀬文化祭	泡瀬まつり	千秋堂
沖縄マリーナ	ミニ塩田	ふれあい芸能祭
ビジュアル、ウブガーやメニューウタキ、ヒヌカンなどの歴史・文化財		
沖縄市陸上競技大会	大綱引きなどのスポーツレクリエーション大会	
特別自由貿易地域となった中城湾港新港地区		
その他( )		

2.2 あなたが、よく参加したり、見たり、行ったりする、泡瀬地区の社会環境は何ですか。

次の中から、いくつでも選んで下さい。

泡瀬の京太郎	泡瀬ハーリー	エイサー
泡瀬文化祭	泡瀬まつり	千秋堂
沖縄マリーナ	ミニ塩田	ふれあい芸能祭
ビジュアル、ウブガーやメニューウタキ、ヒヌカンなどの歴史・文化財		
沖縄市陸上競技大会	大綱引きなどのスポーツレクリエーション大会	
特別自由貿易地域となった中城湾港新港地区		
その他( )		

2.3 あなたが、詳しく知ってみたい泡瀬地区の社会環境は何ですか。

次の中からいくつでも選んで下さい。

泡瀬の京太郎	泡瀬ハーリー	エイサー
泡瀬文化祭	泡瀬まつり	千秋堂
沖縄マリーナ	ミニ塩田	ふれあい芸能祭
ビジュアル、ウブガーやメニューウタキ、ヒヌカンなどの歴史・文化財		
沖縄市陸上競技大会	大綱引きなどのスポーツレクリエーション大会	
特別自由貿易地域となった中城湾港新港地区		
その他( )		

3. 泡瀬地区における“自然環境”に関する活動についてお聞きします。

3.1 あなたは、泡瀬地区及び沖縄市における自然環境を学んだり、体験したりする活動が行われていることを知っていますか。

はい

いいえ

3.2 あなたは、泡瀬地区及び沖縄市における自然環境を学んだり、体験したりする活動に参加したことがありますか。

はい

いいえ

3.3 「3.2 の質問」で「はい」と答えた方にお聞きします。それはどんな活動でしたか。教えてください。

3.4 あなたが、泡瀬地区の自然環境に関する活動のうち、興味があるものは何ですか。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	非常に興味がある	やや興味がある	あまり興味がない	まったく興味がない	わからない
1.比屋根湿地の植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
2.比屋根湿地の野鳥について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬干潟の動植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬の海辺の植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬の海中の海草について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
6.泡瀬の海岸の地形について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
7.新港地区のトントンミーを学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
8.新港地区のマングローブを学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
9.その他 ( )	●	●	●	●	●

3.5 あなたが、泡瀬地区の自然環境に関する活動のうち、参加したいと思うものは何ですか。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	是非参加したい	できれば参加したい	あまり参加したくない	全然参加したくない	わからない
1.比屋根湿地の植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
2.比屋根湿地の野鳥について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬干潟の動植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬の海辺の植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬の海中の海草について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
6.泡瀬の海岸の地形について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
7.新港地区のトントンミーを学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
8.新港地区のマングローブを学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
9.その他 ( )	●	●	●	●	●

3.6 あなたが、泡瀬地区の自然環境を学んだり体験したりする活動に協力したい、手伝いたいと思うものは何ですが。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	是非協力したい	できれば協力したい	あまり協力したくない	絶対協力したくない	わからない
1.比屋根湿地の植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
2.比屋根湿地の野鳥について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬干潟の動植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬の海辺の植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬の海中の海草について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
6.泡瀬の海岸の地形について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
7.新港地区のトントンミーを学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
8.新港地区のマングローブを学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
9.その他 ( )	●	●	●	●	●

3.7 あなたが、泡瀬地区の自然環境を学んだり体験したりする活動の、“講師”や“インストラクター”をやってみたいと思うものは何ですが。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	是非やってみたい	できればやってみたい	あまりやりたくない	絶対やりたくない	わからない
1.比屋根湿地の植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
2.比屋根湿地の野鳥について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬干潟の動植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬の海辺の植物について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬の海中の海草について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
6.泡瀬の海岸の地形について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
7.新港地区のトントンミーを学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
8.新港地区のマングローブを学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
9.その他 ( )	●	●	●	●	●

3.8 あなたは、泡瀬地区の自然環境のうち、どのようなものを題材（テーマ）に、活動することが良いと思いますか。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	ぜひ行つべき	できれば行つべき	あまり行つべきではない	絶対行つべきではない	わからない
1.比屋根湿地を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
2.泡瀬の干潟を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
3.海辺の動・植物を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
4.海中の動・植物を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
5.新港地区の自然環境を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
4.その他 ( )	●	●	●	●	●



4. 泡瀬地区における“社会環境”に関する活動についてお聞きします。

4.1 あなたは、泡瀬地区及び沖縄市における社会環境を学んだり、体験したりする活動が行われていることを知っていますか。

はい

いいえ

4.2 あなたは、泡瀬地区及び沖縄市における社会環境を学んだり、体験したりする活動に参加したことがありますか。

はい

いいえ

4.3 「4.2 の質問」で「はい」と答えた方にお聞きします。それはどんな活動でしたか。教えてください。

4.4 あなたが、泡瀬地区の社会環境に関する活動のうち、興味があるものは何ですか。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	非常に興味がある	やや興味がある	あまり興味がない	まったく興味がない	わからない
1.新港地区のみなとについて学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
2.泡瀬地区の文化財を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬地区の歴史について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬地区の伝統芸能を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬地区の伝統工芸を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
6.スポーツ・レクリエーションについて学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
7.泡瀬地区の漁業について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
8.泡瀬地区の人工島について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
9.その他 ( )	●	●	●	●	●

4.5 あなたが、泡瀬地区の社会環境に関する活動のうち、参加したいと思うものは何ですか。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	是非参加したい	できれば参加したい	あまり参加したくない	全然参加したくない	わからない
1.新港地区のみなどについて学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
2.泡瀬地区の文化財を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬地区の歴史について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬地区の伝統芸能を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬地区の伝統工芸を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
6.ｽｰｯ・ｸﾞﾙｰﾌﾟについて学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
7.泡瀬地区の漁業について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
8.泡瀬地区の人工島について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
9.その他 ( )	●	●	●	●	●

4.6 あなたが、泡瀬地区の社会環境を学んだり体験したりする活動に協力したい、手伝いたいと思うものは何ですが。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	是非協力したい	できれば協力したい	あまり協力したくない	絶対協力したくない	わからない
1.新港地区のみなどについて学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
2.泡瀬地区の文化財を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬地区の歴史について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬地区の伝統芸能を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬地区の伝統工芸を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
6.ｽｰｯ・ｸﾞﾙｰﾌﾟについて学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
7.泡瀬地区の漁業について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
8.泡瀬地区の人工島について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
9.その他 ( )	●	●	●	●	●

4.7 あなたが、泡瀬地区の社会環境を学んだり体験したりする活動の、“講師”や“インストラクター”をやってみたいと思うものは何ですが。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	是非やってみたい	できればやってみたい	あまりやりたくない	絶対やりたくない	わからない
1.新港地区のみなとについて学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
2.泡瀬地区の文化財を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬地区の歴史について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬地区の伝統芸能を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬地区の伝統工芸を学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
6.ｽｰﾂ・レクリエーションについて学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
7.泡瀬地区の漁業について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
8.泡瀬地区の人工島について学んだり体験したりする活動	●	●	●	●	●
9.その他 ( )	●	●	●	●	●

4.8 あなたは、泡瀬地区の社会環境のうち、どのようなものを題材（テーマ）に、活動することが良いと思いますか。次のそれぞれの項目について、あなたが思うところに 印を付けて下さい。

	ぜひ行うべき	できれば行うべき	あまり行うべきではない	絶対行うべきではない	わからない
1.新港地区を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
2.スポーツレクリエーションを題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
3.泡瀬地区の歴史・文化財を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
4.泡瀬地区の伝統芸能・工芸を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
5.泡瀬地区の人工島を題材（テーマ）とした活動	●	●	●	●	●
6.その他 ( )	●	●	●	●	●

5. あなたのことを教えてください。

5.1 あなたの性別を教えてください。

男性

女性

5.2 あなたの年齢を教えてください。

10 歳代

20 歳代

30 歳代

40 歳代

50 歳代

60 歳代

70 歳代

80 歳代

90 歳以上

5.3 あなたの職業を教えてください。

公務員

会社員

会社役員

自営業

パート、アルバイト

専業主婦

学生

無職

その他 (

)

5.4 あなたの、お住まいの場所と泡瀬地区における居住年数を教えてください。

沖縄市の (

) に約 (

) 年間、住んでいる

6. 何か意見などありましたら、以下の欄にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。



## < 参考資料その2: 泡瀬地区の主な社会環境 >

製塩の歴史、塩田跡地  
泡瀬漁港、泡瀬ハーリー  
アーサ摘み、潮干狩り、  
イザリ漁

海と結びついた暮らし

自由貿易特別地域（流通加工施設、倉庫等）

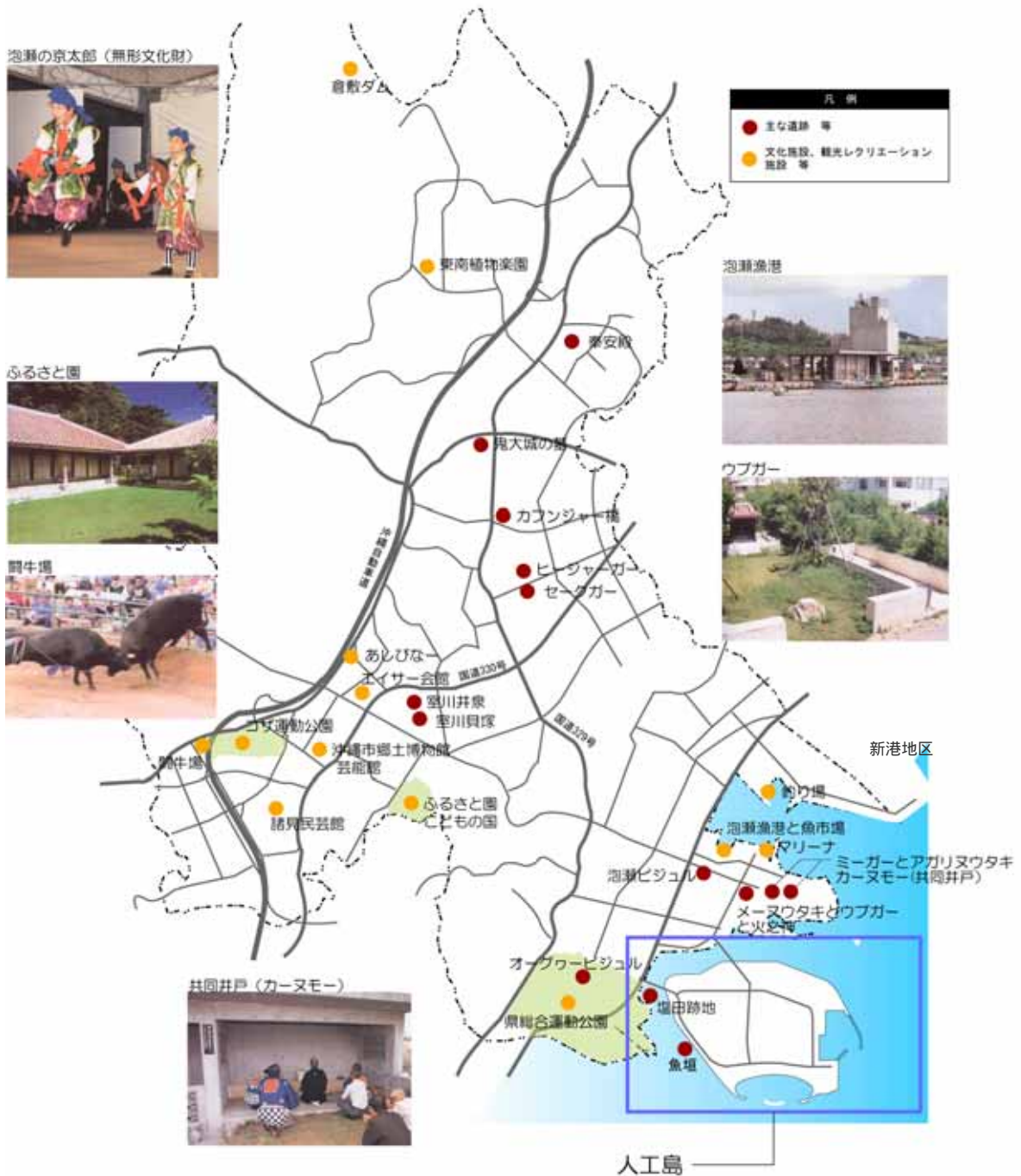
リサイクルポートとして発展する中城湾港

総合運動公園 泡瀬大綱  
引き 沖縄マリーナ 等

様々なスポーツ・レクリエーション

泡瀬の京太郎、ウスデー  
ク、エイサー、三線、太鼓、竹細工、知花花織 等

脈々と受け継がれる伝統芸能や伝統工芸



## (2) NPO 等諸団体へのヒアリング調査

### ヒアリング調査項目の構成

NPO 等諸団体の意向調査はヒアリング（対面調査）によるものとする。ヒアリング調査は、以下の構成により行うこととする。

#### 団体について

- ・団体の代表者・所在地について
- ・団体のメンバー数について
- ・設立の経緯や目的について

#### 団体の活動について

- ・団体の主な活動内容・活動場所について
- ・メンバー以外の参加者の特性について
- ・活動の頻度について
- ・最も必要な支援・補助等について
- ・活動上の問題点や課題について（苦勞話など）

#### 泡瀬地区における自然環境・社会環境に関連する活動について

- ・泡瀬地区における活動の是非・可能性について
- ・泡瀬地区における興味のある活動内容・場所について
- ・泡瀬地区における活動の問題点・課題について

ヒアリング調査シート（案） については約款等であらかじめ把握しておく

団体名称		設立年次	
代表者名		会員数	
連絡先	住所：沖縄県		
	電話：098（ ）	FAX：098（ ）	
	e-mail：	URL：	
設立目的 ・趣旨			
ヒアリング項目			
現在の活動	1. 主な活動内容		
	2. 主な活動場所		
	3. 活動の頻度		
	4. メンバー以外の参加者について	人数：	属性：
	5. 教材について		
	6. 講師、インタプリターについて		
	7. 最も必要な支援について		
	費用 機材 講師・インタプリターの 派遣 育成 活動場所の情報 教材 備品・機材 交通手段 協力者（ボランティア等） その他		
8. 活動上の苦労話、問題点・課題			



ヒアリング項目

1. 泡瀬地区の自然環境の中で興味を引かれるもの（参考資料を別途用意）

- a. 比屋根湿地の植物      b. 比屋根湿地の動物      c. 泡瀬の干潟の動・植物  
 d. 海辺の海浜植物      e. 海中の動・植物      f. 新港地区の動・植物  
 g. その他

上記のうち、活動の実績があるものは○で囲む

2. 泡瀬地区の社会環境の中で興味を引かれるもの（参考資料を別途用意）

- 1) 新港地区（自由貿易特別地域）      2) スポーツレクリエーション  
 3) 歴史・文化財      4) 伝統芸能・伝統工芸  
 5) その他

上記のうち、活動の実績があるものは○で囲む

3. 泡瀬地区における活動の可能性

泡瀬地区での  
活動について

- |    | 無 | 有 |    | 無 | 有 |
|----|---|---|----|---|---|
| a. | ● | ● | 1) | ● | ● |
| b. | ● | ● | 2) | ● | ● |
| c. | ● | ● | 3) | ● | ● |
| d. | ● | ● | 4) | ● | ● |
| e. | ● | ● | 5) | ● | ● |
| f. | ● | ● |    |   |   |
| g. | ● | ● |    |   |   |

無の理由

有の理由（または条件）

4. 泡瀬地区における活動上の問題点・課題など、その他

参考資料は、地域住民へのアンケートに添付する参考資料と同一のものを持参する

### (3)小・中学校関係者へのアンケート調査

沖縄市には、現在、15の小学校と8の中学校、及び2の養護学校があるため、 $15+8+2=25$ 校全てにアンケート調査を依頼する。

#### アンケート調査項目の構成

小・中学校及び養護学校の意向調査はアンケートによるものとする。アンケート調査は、以下の構成により行うこととする。

#### 自然環境に関する学習活動の実施状況について

- ・自然環境に関する学習活動の有無及び内容・場所について
- ・子供たちの反応について
- ・使用した教材・備品等について
- ・問題点・課題、苦労した点などについて

#### 社会環境に関する学習活動の実施状況について

- ・自然環境に関する学習活動の有無及び内容・場所について
- ・子供たちの反応について
- ・使用した教材・備品等について
- ・問題点・課題、苦労した点などについて

#### 今後実施が考えられる自然環境・社会環境に関連する活動について

- ・興味のある自然環境・社会環境に関する活動について
- ・実施予定のある自然環境・社会環境に関する活動について
- ・実施したい自然環境・社会環境に関する活動について
- ・実施するにあたって必要となるものについて
- ・実施するにあたっての問題点・課題について

#### 学校について

- ・学校名
- ・担当する学年・組の生徒数
- ・回答教諭名

アンケート調査票（案）

以下に、アンケート調査項目を踏まえた、アンケート調査票（案）を示す。

小・中学校、養護学校へのアンケート調査票（案）

沖縄市における自然環境・社会環境等を活用した学習活動  
に関するアンケート ご協力をお願い

平成 16 年 月 日

沖縄市

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度沖縄市内の小・中学校、養護学校の先生方に、沖縄市内の自然環境や社会環境（歴史、文化、港、スポーツレクリエーション、産業など）を題材にした学習活動に関する調査をお願いすることになりました。この調査は、沖縄市所在の小・中学校、養護学校に対して行うもので、先生方が、沖縄市内の自然環境や社会環境（歴史、文化、スポーツレクリエーション、産業など）を題材（テーマ）とした学習活動に、どのように取り組んでおられるのかをお聞きすることを目的としたものです。

この調査の結果は、学習活動への支援等を検討する上での参考とさせていただきます。

ご多忙のところ恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、この調査の結果は、上記の目的以外に使用することはなく、回収用紙の管理・取り扱いを厳重にし、また統計的に処理した結果のみを利用しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

アンケートご記入に際してのお願い

このアンケートは、先生ご自身のお考えをご記入ください。

ご記入していただく回答は、選択式・記入式となっています。

学習活動に対するアンケートは、「自然環境」と「社会環境」に区分しております。お手数ですが、区分ごとに記入して下さい。

自由意見をご記入いただける欄も設けてありますので、何かありましたらご記入下さい。

記入が終わりましたら、用紙をそのまま折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、ポストへ投函してください。

投函は平成 16 年 月 日（ ）までをお願いします。

この調査についてご不明な点があれば、下記にお問合せください。

< 沖縄市東部海浜開発局計画調整課 TEL098-939-1212 FAX098-939-6313 >

1.“自然環境”に関する学習活動の実施状況についてお聞きします。

1.1 あなたの学校で、“自然環境”に関する学習活動を行ったことがありますか。

はい

いいえ

1.2 以下の設問には、1.1で「はい」と答えた場合にご回答下さい。1つ以上、5つまでお書き下さい。「いいえ」の場合は、1.3にお進み下さい。

(1)その題材(テーマ)は何ですか。


(2)その活動場所はどこですか。


(3)その学習活動のねらいは何ですか。


(4)その学習活動に対する子供たちの反応はどうでしたか。それぞれの学習活動に対して、該当する部分に 印を付けて下さい。

非常に良かった	●	●	●	●	●
良かった	●	●	●	●	●
あまり良くなかった	●	●	●	●	●
悪かった	●	●	●	●	●
どちらともいえない	●	●	●	●	●

(5)そのときに使用した教材は何ですか。


(6)その教材は、どのようにして準備しましたか。

自分で作成した	●	●	●	●	●
PTA と協力して作成した	●	●	●	●	●
地域のボランティアと協力して作成した	●	●	●	●	●
地域の団体と協力して作成した	●	●	●	●	●
地域の企業と協力して作成した	●	●	●	●	●
既往の教材を使用した	●	●	●	●	●
自治体が配布しているものを使用した	●	●	●	●	●
地域の団体が配布しているものを使用した	●	●	●	●	●
地域の企業が配布しているものを使用した	●	●	●	●	●
不明	●	●	●	●	●
その他 ( )	●	●	●	●	●

(7)そのときに苦労した事などがありましたら、教えて下さい。

--

1.3 「1.1」の設問で、「いいえ」と答えられた方にお聞きします。その理由は何ですか。

--

1.4 “自然環境”に関する学習活動を行う場合の問題点や課題は何ですか。

--

1.5 “自然環境”に関する活動を実施する場合に、最も重要と感じる支援・補助は何ですか。

1つだけお答え下さい。

子供用教材	教諭用資料	講師・インストラクター
活動場所の情報	交通手段の確保	備品・機材の確保
ボランティア等による協力	予算(費用)	学習のプログラム
その他(		)

2.“社会環境”に関する学習活動の実施状況についてお聞きします。

2.1 あなたの学校で、“社会環境”に関する学習活動を行ったことがありますか。

はい

いいえ

2.2 以下の設問には、2.1で「はい」と答えた場合にご回答下さい。1つ以上、5つまでお書き下さい。「いいえ」の場合は、2.3にお進み下さい。

(1)その題材(テーマ)は何ですか。


(2)その活動場所はどこですか。


(3)その学習活動のねらいは何ですか。


(4)その学習活動に対する子供たちの反応はどうでしたか。それぞれの学習活動に対して、該当する部分に 印を付けて下さい。

非常に良かった	●	●	●	●	●
良かった	●	●	●	●	●
あまり良くなかった	●	●	●	●	●
悪かった	●	●	●	●	●
どちらともいえない	●	●	●	●	●

(5)そのときに使用した教材は何ですか。


(6)その教材は、どのようにして準備しましたか。

自分で作成した	●	●	●	●	●
PTA と協力して作成した	●	●	●	●	●
地域のボランティアと協力して作成した	●	●	●	●	●
地域の団体と協力して作成した	●	●	●	●	●
地域の企業と協力して作成した	●	●	●	●	●
既往の教材を使用した	●	●	●	●	●
自治体が配布しているものを使用した	●	●	●	●	●
地域の団体が配布しているものを使用した	●	●	●	●	●
地域の企業が配布しているものを使用した	●	●	●	●	●
不明	●	●	●	●	●
その他 (                      )	●	●	●	●	●



(7)そのときに苦労した事などがありましたら、教えて下さい。

--

2.3 「2.1」の設問で、「いいえ」と答えられた方にお聞きします。その理由は何ですか。

--

2.4 “社会環境”に関する学習活動を行う場合の問題点や課題は何ですか。

--

2.5 “社会環境”に関する活動を実施する場合に、最も重要と感じる支援・補助は何ですか。

1つだけお答え下さい。

子供用教材	教諭用資料	講師・インストラクター
活動場所の情報	交通手段の確保	備品・機材の確保
ボランティア等による協力	予算(費用)	学習のプログラム
その他(		)

3. 学校・学年・クラス等についてお聞きします。

3.1 あなたの学校名

( ) 小学校・中学校・養護学校

3.2 あなたの担当する学年

小学・中学・( ) 年

3.3 あなたの担当するクラスの人数

( ) 人/クラス

3.4 回答していただいた教諭の氏名

4. 何かご意見などありましたら、お書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

## 1.4 アンケート・ヒアリング調査方法

### (1) 泡瀬地区等地域住民へのアンケート調査

調査方法：郵送方式による発送・回収

選定方法：住民基本台帳あるいは地域の電話帳より無作為に選定

調査対象：人工島予定地を中心に、半径7km程度の範囲における居住者(世帯)を対象とする。

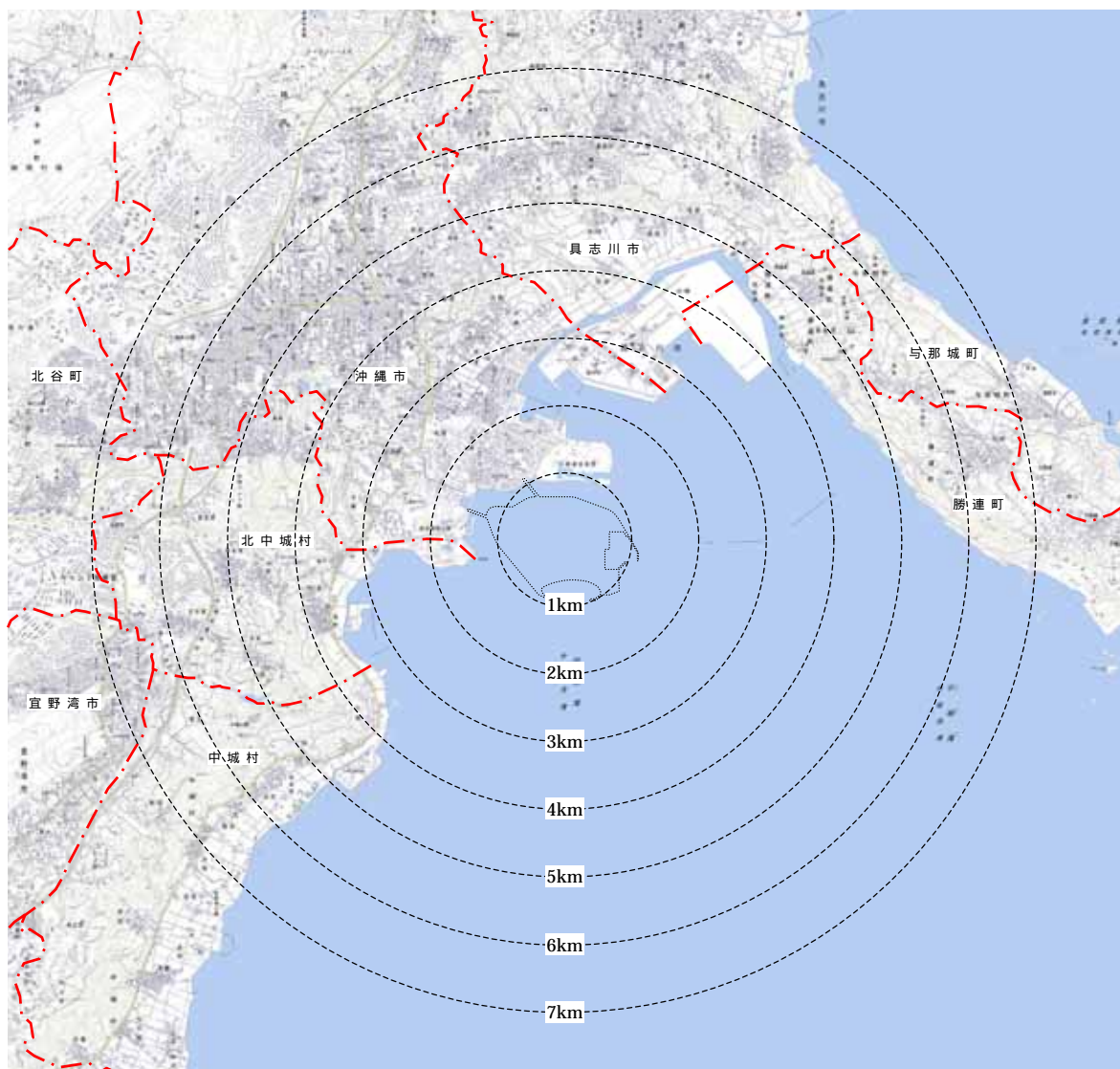


表 - 1.3 調査対象範囲内の世帯数（平成16年度）

自治会名	古謝	高原	比屋根	与儀	泡瀬	泡瀬第一	泡瀬第二	泡瀬第三	海邦町	小計	合計
世帯数	1,535	2,395	1,618	1,007	2,652	892	123	1,001	688	11,911	37,544
自治会名	安慶田	住吉	嘉間良	八重島	胡屋	中の町	園田	諸見里	山内	小計	
世帯数	2,131	677	645	330	2,998	1,897	662	1,954	1,241	25,633	
自治会名	山里	久保田	南桃原	美里	宮里	松本	知花	大里	東桃原	小計	
世帯数	1,053	875	1,522	3,291	1,847	1,359	1,602	1,309	240	240	

...人工島に近い地区  
 ...その他7km範囲内の地区

資料：沖繩市

## 発送数

アンケート調査を行うにあたって、母集団が大きい場合は、標本調査を行うのが一般的である。母集団と標本数の差が小さいほど誤差は少なくなるが、母集団が大規模であるとき、信頼度（通常 95%）を考慮して、標本数を決定することとなる。標本数の計算式は以下のとおりである。

$$\text{標本数} = \frac{\text{母集団}}{(\text{誤差の最大値}/\text{信頼度係数})^2 \times [1/\{\text{母比率} \times (1-\text{母比率})\}]}$$

母集団は、表 - .1.3 より 37,544 世帯となる。また、信頼度を 95%（= 信頼度係数：1.96）とすると、必要な標本数は、誤差の最大値（標本誤差）及び母比率の値によって変化してくる。

以下に標本誤差、母比率別の必要標本数を整理する。

表 - .1.4 母集団 37,544 世帯、信頼度 95% の場合の標本数

標本誤差 母比率	1%	2%	3%	4%
10%	3,166	844	380	215
20%	5,282	1,746	670	380
30%	6,640	1,914	876	498
40%	7,402	2,171	997	568
50%	7,648	2,257	1,038	591

一般に、母比率が分からないときは、標本数が過小にならないよう 50% 程度とすることとされており、また、標本誤差については、任意に設定するものである。

表 - .1.4 を見ると、標本誤差を 1% 向上させるためには、標本数をおおよそ 2 倍程度としなければならないことが分かる。

一方、必要な標本数を確保するためには、アンケート調査の回収率が大きく影響してくる。郵送法のアンケート調査においては、回収率の向上を図るため、沖縄市の封筒による発送、及び沖縄市による依頼文を添付するなど、行政による調査であることが認識できるよう、工夫が必要となる。また、郵送法以外では、地区会長等へアンケート回収を依頼する方法や、調査員等による回収方法も考えられる。

## (2) NPO等諸団体へのヒアリング調査

### 調査対象

沖縄県において、NPO 法人登録を行っている団体等のうち、環境を題材にしている団体を対象とする。

特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議（環境利用学習専門部会 座長）

申請年月日	平成14年12月16日	認証年月日	平成15年2月21日
代表者の氏名	小濱 哲		
主たる事務所の所在地	沖縄市中央1丁目3番16号2階		
活動の種類	環境の保全を図る活動		
定款に記載された目的	この法人は、身体的障害を持つ児童やその家族、また高齢者やその家族その他の手助けを必要とする人々の、特に生活や余暇活動時における介助や補助に関する事業を行い、すべての人々が健やかに自由に暮らせる地域社会づくりと社会全体の利益の増進を目的都市、真のバリアフリー社会の実現に寄与することを目的とする。		

やんばるエコツーリズム研究所 中根 忍（環境利用学習専門部会 委員）

特定非営利活動法人 沖縄 海と渚 保全会（環境利用学習専門部会 委員）

申請年月日	平成12年3月15日	認証年月日	平成12年6月9日
代表者の氏名	田中幸雄		
主たる事務所の所在地	中頭郡読谷村字渡具知 215 番地の 3		
活動の種類	環境の保全を図る活動		
定款に記載された目的	この法人は、沖縄県の海浜の美化と安全確保に関する事業を行い、その環境保全に寄与する事を目的とする。		

特定非営利活動法人 Okinawa Ocean Culture & Environment Action Network

申請年月日	平成15年1月27日	認証年月日	平成15年4月7日
代表者の氏名	Sanchez Edward Heinrich		
主たる事務所の所在地	恩納村字山田 357 番地の 2		
活動の種類	社会教育の推進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動 環境の保全を図る活動、子どもの健全育成を図る活動、その他		
定款に記載された目的	この法人は、若年層を中心とする広く一般の人々に対して、国際交流を軸として海洋文化と自然環境を学ぶ体験型教育プログラムを提供する事業を行い、地域と社会の健全なあり方を理解する国際的リーダーの育成に寄与することを目的とする。		

特定非営利活動法人 国際マングローブ生態系協会

申請年月日	平成 15 年 8 月 22 日	認証年月日	平成 15 年 10 月 28 日
代表者の氏名	馬場 繁幸		
主たる事務所の所在地	那覇市首里汀良町 1 丁目 50 番地 2		
活動の種類	環境の保全を図る活動、国際協力の活動、その他		
定款に記載された目的	この法人は、沖縄県内及び海外においてマングローブ生態系に関する調査、研究、情報収集等を行うことにより、環境保全、産業振興に寄与することを目的とするほか、これらの活動を通じ、国際的な研究協力、学術交流を図りもってマングローブ生態系の保全及びマングローブに関する国際協力を推進するとともに、わが国や沖縄県の国際的地位向上に貢献することを目的とする。		

特定非営利活動法人 ゆいベース・エル

申請年月日	平成 15 年 10 月 16 日	認証年月日	平成 16 年 1 月 9 日
代表者の氏名	佐藤 敦志		
主たる事務所の所在地	那覇市壺屋 2 丁目 14 番地 22 号		
活動の種類	社会教育の推進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動		
定款に記載された目的	この法人は、自主的な学習や文化活動を求める一般住民に対して、生涯学習活動の環境整備と活動支援に関する事業を行い、生涯学習活動の振興と地域の活性化に寄与することを目的とする。		

特定非営利活動法人 Okinawa Hands-on NPO

申請年月日	平成 13 年 11 月 20 日	認証年月日	平成 14 年 1 月 31 日
代表者の氏名	安慶名達也		
主たる事務所の所在地	沖縄市宮里 3 丁目 17 番 25 号		
活動の種類	まちづくりの推進を図る活動、学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動、子どもの健全育成を図る活動		
定款に記載された目的	この法人は、ハンズオン（見て、触れて、感じて、遊べる参加体験型の場の提供）に関する事業を行い、教育、人材育成、まちづくりの推進に寄与することを目的とする。		

特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ

申請年月日	平成14年1月4日	認証年月日	平成14年3月29日
代表者の氏名	上原千賀子		
主たる事務所の所在地	那覇市字国場370番地 マル嘉アパート107号室		
活動の種類	社会教育の推進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 環境の保全を図る活動、その他		
定款に記載された目的	この法人は、地域の自然と環境に対して、子どもと大人が共通の体験及びその回復と保全をめざした実践活動を通して、互いのふれあいと自然環境についての理解を深め、自然と環境の保全及び環境教育を推進し、文化及び産業の振興に寄与することを目的とする。		

なお、上記 NPO 等団体へのヒアリング調査において、十分な情報が得られなかった場合や、地元で結成された、サークルや同好会などによる特徴的な活動の実施が情報確認できた場合には、これを対象にヒアリングする場合も考えられる。

表 1.4 沖縄市内及びその周辺の主なサークル・団体等

	名称	主な活動
自然体験	石川少年自然の家	ファミリーキャンプ
	国立沖縄青年の家	親子アウトドア教室
	青少年センター	親子キャンプ
	県立教育センター	親子野鳥観察会
	沖縄県公園・スポーツ振興協会	ヨット教室、ボート教室
	日本ボーイスカウト沖縄県連盟 沖縄第1団	ボーイスカウト
	日本ボーイスカウト沖縄県連盟 沖縄第3団	ボーイスカウト
	日本ガールスカウト日本連盟沖縄支部 第12団	ガールスカウト
	日本ガールスカウト日本連盟沖縄支部 第21団	ガールスカウト
	釣り同好会	釣り
	山野草愛好会	野草
	子どもの国わくわくボランティアクラブ	園内草刈、ユーカリ手入れ他

生涯学習ハンドブック2004(沖縄市)から、自然・社会体験活動等を実施している団体等を抽出

調査方法

基本的にヒアリング(対面方式)による聞き取り調査とする。

### (3)小・中学校、養護学校へのアンケート調査

#### 調査対象

前述したとおり、沖縄市には、現在、15の小学校と8の中学校、及び2の養護学校があり、これら各学校に対して、アンケート調査を行う。

表 - .1.5 沖縄市の小・中学校と生徒数

小学校名	生徒数(人)	中学校名	生徒数(人)
越来小学校	329	沖縄東中学校	859
コザ小学校	437	宮里中学校	667
中の町小学校	648	安慶田中学校	479
安慶田小学校	623	美東中学校	632
諸見小学校	747	美里中学校	833
島袋小学校	203	山内中学校	612
山内小学校	773	コザ中学校	637
北美小学校	608	越来中学校	278
美里小学校	769	以上平成16年8月1日現在	
美東小学校	840	養護学校名	生徒数(人)
宮里小学校	950	沖縄県立泡瀬養護学校 小学部	83
高原小学校	1,265	〃 中学部	39
室川小学校	352	沖縄県立美咲養護学校 小学部	101
美原小学校	867	〃 中学部	82
泡瀬小学校	1,009	以上平成16年5月1日現在	

#### 調査方法

沖縄市(教育委員会)等の協力により、各学校に1通以上のアンケート調査票の配布・回収を行う。